

第4回 「食と農業」の持続性への関心について

1 調査目的

食を支える農業への県民の理解促進を図るため、食と農業に対する現在の県民の理解の状況や、県民が関心を寄せる農業への関わり方を把握する。
(担当課:農政部 農政課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

811名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和6(2024)年6月18日～7月1日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 542名 (回答率66.8%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	222	41.0 %
女性	313	57.7 %
未回答	7	1.3 %
計	542	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	0	0.0 %
20代	16	3.0 %
30代	48	8.9 %
40代	142	26.2 %
50代	141	26.0 %
60代	124	22.9 %
70代以上	71	13.1 %
計	542	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	274	50.6 %
県南	155	28.6 %
県北	113	20.8 %
計	542	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

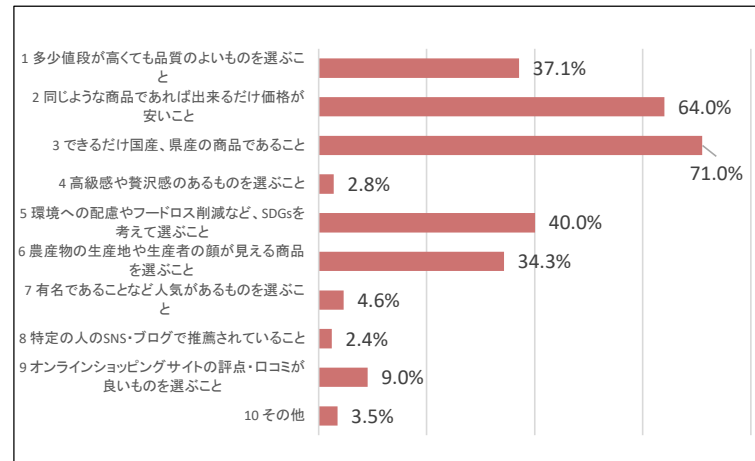
4 調査結果

問1 あなたが、食に関して重視していること(食品の購入や外食をする際に重視していること)はどのようなことですか。

当てはまるものを全て選択してください。

	構成比	回答数
1 多少値段が高くても品質のよいものを選ぶこと	37.1%	201
2 同じような商品であれば出来るだけ価格が安いこと	64.0%	347
3 できるだけ国産、県産の商品であること	71.0%	385
4 高級感や贅沢感のあるものを選ぶこと	2.8%	15
5 環境への配慮やフードロス削減など、SDGsを考慮して選ぶこと	40.0%	217
6 農産物の生産地や生産者の顔が見える商品を選ぶこと	34.3%	186
7 有名であることなど人気があるものを選ぶこと	4.6%	25
8 特定の人のSNS・ブログで推薦されていること	2.4%	13
9 オンラインショッピングサイトの評点・口コミが良いものを選ぶこと	9.0%	49
10 その他	3.5%	19

(n = 542)



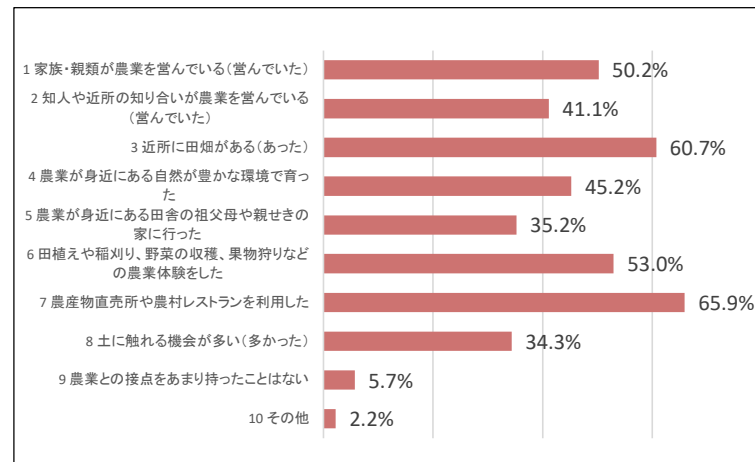
【その他の主な意見】

- ・食べて美味しいこと
- ・農薬使用量や添加物が少ないなど、安全な食品であること

問2 あなたが、これまでに持った農業との接点として、当てはまるものを全てお答えください。

	構成比	回答数
1 家族・親類が農業を営んでいる(営んでいた)	50.2%	272
2 知人や近所の知り合いが農業を営んでいる(営んでいた)	41.1%	223
3 近所に田畑がある(あった)	60.7%	329
4 農業が身近にある自然が豊かな環境で育った	45.2%	245
5 農業が身近にある田舎の祖父母や親せきの家に行った	35.2%	191
6 田植えや稲刈り、野菜の収穫、果物狩りなどの農業体験をした	53.0%	287
7 農産物直売所や農村レストランを利用した	65.9%	357
8 土に触れる機会が多い(多かった)	34.3%	186
9 農業との接点をあまり持ったことはない	5.7%	31
10 その他	2.2%	12

(n = 542)



【その他の主な意見】

- ・家庭菜園を行っている(行っていた)
- ・農業に関係する仕事をしている(していた)

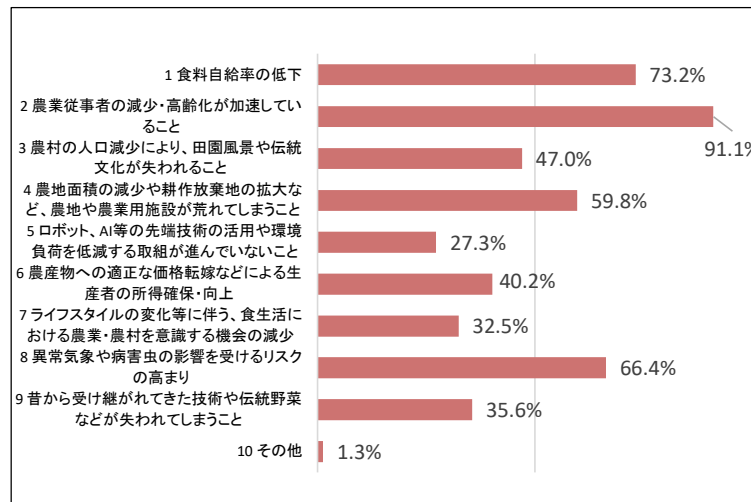
問3 あなたが、現在の日本の農業の課題として知っているものを全てお答えください。

	構成比	回答数
1 食料自給率の低下	73.2%	397
2 農業従事者の減少・高齢化が加速していること	91.1%	494
3 農村の人口減少により、田園風景や伝統文化が失われること	47.0%	255
4 農地面積の減少や耕作放棄地の拡大など、農地や農業用施設が荒れてしまうこと	59.8%	324
5 ロボット、AI等の先端技術の活用や環境負荷を低減する取組が進んでいないこと	27.3%	148
6 農産物への適正な価格転嫁などによる生産者の所得確保・向上	40.2%	218
7 ライフスタイルの変化等に伴う、食生活における農業・農村を意識する機会の減少	32.5%	176
8 異常気象や病害虫の影響を受けるリスクの高まり	66.4%	360
9 昔から受け継がれてきた技術や伝統野菜などが失われてしまうこと	35.6%	193
10 その他	1.3%	7

(n = 542)

【その他の主な意見】

- ・農産物の盗難や、農産物に関する知的財産の侵害
- ・肥料や飼料の供給を輸入に頼っていること



問4 あなたは、今後の農業を盛り上げていくために、どのような取組が必要だと思いますか。

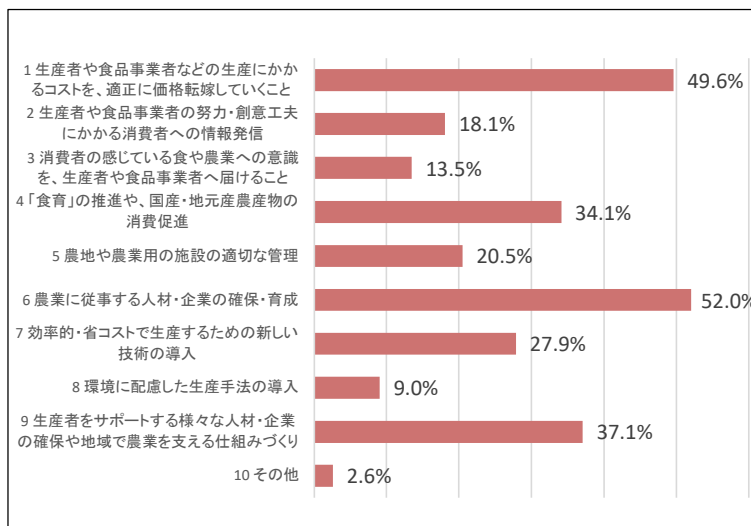
当てはまるものを選んでください。(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 生産者や食品事業者などの生産にかかるコストを、適正に価格転嫁していくこと	49.6%	269
2 生産者や食品事業者の努力・創意工夫にかかる消費者への情報発信	18.1%	98
3 消費者の感じている食や農業への意識を、生産者や食品事業者へ届けること	13.5%	73
4 「食育」の推進や、国産・地元産農産物の消費促進	34.1%	185
5 農地や農業用の施設の適切な管理	20.5%	111
6 農業に従事する人材・企業の確保・育成	52.0%	282
7 効率的・省コストで生産するための新しい技術の導入	27.9%	151
8 環境に配慮した生産手法の導入	9.0%	49
9 生産者をサポートする様々な人材・企業の確保や地域で農業を支える仕組みづくり	37.1%	201
10 その他	2.6%	14

(n = 542)

【その他の主な意見】

- ・農産物の輸出促進
- ・農業経営体の法人化や、農業への企業参入の促進

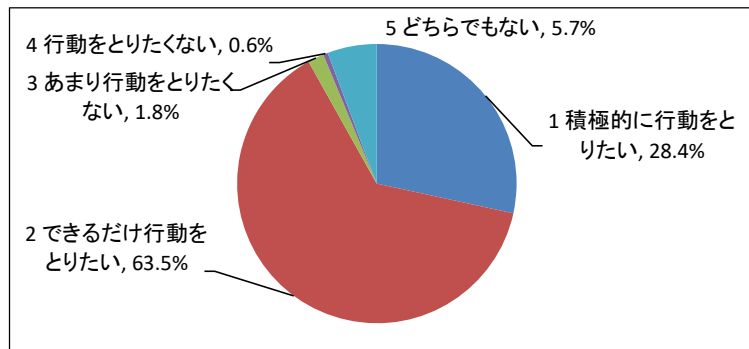


問5 あなたは、栃木県の農業を応援する行動をとりたいと思いますか。

※農業を応援する行動: 買い物や外食での農産物の消費、農業関係のイベントへの参加など

	構成比	回答数
1 積極的に行動をとりたい	28.4%	154
2 できるだけ行動をとりたい	63.5%	344
3 あまり行動をとりにたくない	1.8%	10
4 行動をとりにたくない	0.6%	3
5 どちらでもない	5.7%	31

(n = 542)



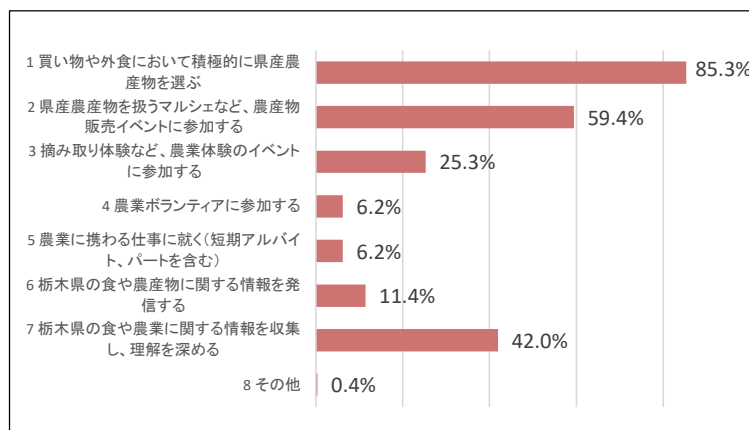
問6 (問5で選択肢1~2を選択した方にお聞きします)

あなたは、栃木県の農業を、どのような行動で応援したいと思いますか。

当てはまるものを選んでください。(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 買い物や外食において積極的に県産農産物を選ぶ	85.3%	425
2 県産農産物を扱うマルシェなど、農産物販売イベントに参加する	59.4%	296
3 摘み取り体験など、農業体験のイベントに参加する	25.3%	126
4 農業ボランティアに参加する	6.2%	31
5 農業に携わる仕事に就く(短期アルバイト、パートを含む)	6.2%	31
6 栃木県の食や農産物に関する情報を発信する	11.4%	57
7 栃木県の食や農業に関する情報を収集し、理解を深める	42.0%	209
8 その他	0.4%	2

(n = 498)



【その他の主な意見】

- ・効果的な農業施策に対する寄付
- ・実家の農作業の手伝い

問7（問5で選択肢1～2を選択した方にお聞きします）

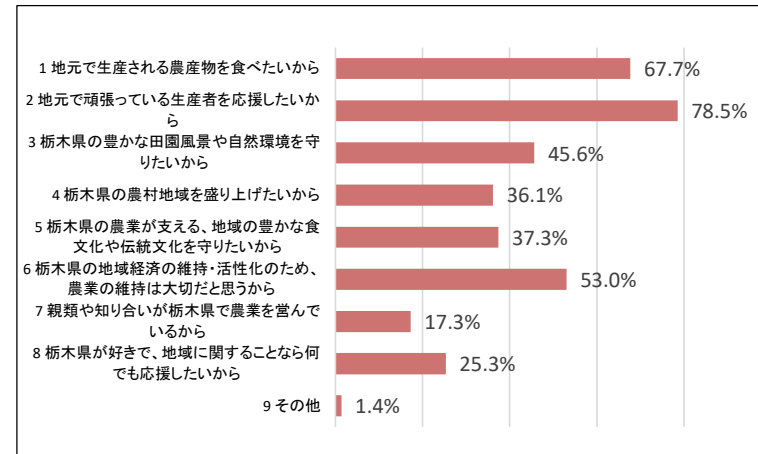
あなたが、栃木県の農業を応援したいと思う理由は何ですか。
 当てはまるものを全て選んでください。

	構成比	回答数
1 地元で生産される農産物を食べたいから	67.7%	337
2 地元で頑張っている生産者を応援したいから	78.5%	391
3 栃木県の豊かな田園風景や自然環境を守りたいから	45.6%	227
4 栃木県の農村地域を盛り上げたいから	36.1%	180
5 栃木県の農業が支える、地域の豊かな食文化や伝統文化を守りたいから	37.3%	186
6 栃木県の地域経済の維持・活性化のため、農業の維持は大切だと思うから	53.0%	264
7 親類や知り合いが栃木県で農業を営んでいるから	17.3%	86
8 栃木県が好きで、地域に関することなら何でも応援したいから	25.3%	126
9 その他	1.4%	7

(n = 498)

【その他の主な意見】

- ・地元の農業に関する情報を得たいから
- ・地産地消の取組はSDGsにつながると思うから



問8（問5で選択肢3～4を選択した方にお聞きします。）

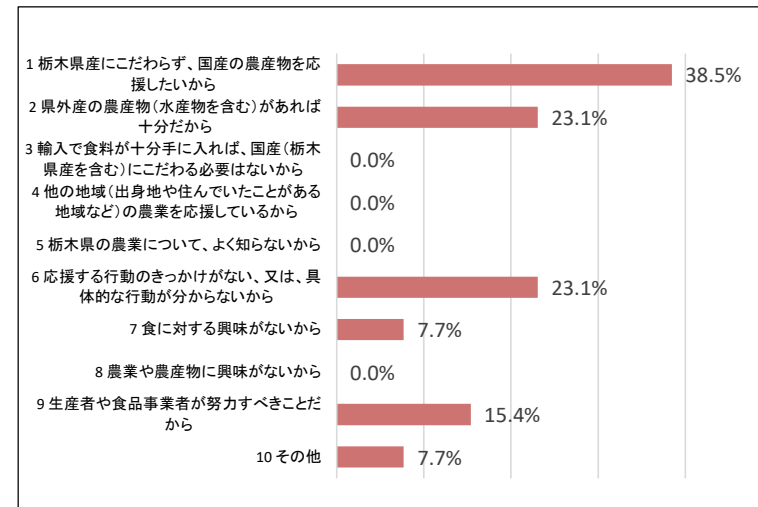
あなたが、栃木県の農業を応援したくないと思う理由は何ですか。
 当てはまるものを全て選んでください。

	構成比	回答数
1 栃木県産にこだわらず、国産の農産物を応援したいから	38.5%	5
2 県外産の農産物(水産物を含む)があれば十分だから	23.1%	3
3 輸入で食料が十分手に入れば、国産(栃木県産を含む)にこだわる必要はないから	0.0%	0
4 他の地域(出身地や住んでいたことがある地域など)の農業を応援しているから	0.0%	0
5 栃木県の農業について、よく知らないから	0.0%	0
6 応援する行動のきっかけがない、又は、具体的な行動が分からないから	23.1%	3
7 食に対する興味が無いから	7.7%	1
8 農業や農産物に興味が無いから	0.0%	0
9 生産者や食品事業者が努力すべきことだから	15.4%	2
10 その他	7.7%	1

(n = 13)

【その他の主な意見】

- ・農業が、広く社会から応援されるような取組をしていると感じないから。



問9 あなたが応援したいと思う農業とは、どのような農業ですか。

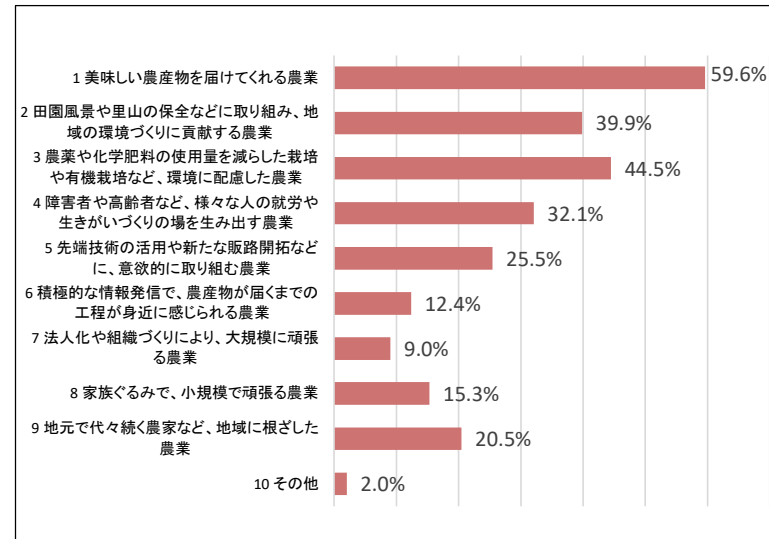
当てはまるものを選んでください。(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 美味しい農産物を届けてくれる農業	59.6%	323
2 田園風景や里山の保全などに取り組み、地域の環境づくりに貢献する農業	39.9%	216
3 農薬や化学肥料の使用量を減らした栽培や有機栽培など、環境に配慮した農業	44.5%	241
4 障害者や高齢者など、様々な人の就労や生きがいつくりの場を生み出す農業	32.1%	174
5 先端技術の活用や新たな販路開拓などに、意欲的に取り組む農業	25.5%	138
6 積極的な情報発信で、農産物が届くまでの工程が身近に感じられる農業	12.4%	67
7 法人化や組織づくりにより、大規模に頑張る農業	9.0%	49
8 家族ぐるみで、小規模で頑張る農業	15.3%	83
9 地元で代々続く農家など、地域に根ざした農業	20.5%	111
10 その他	2.0%	11

(n = 542)

【その他の主な意見】

- ・農業を通じて、地元の情報発信や地元PRに取り組む農業
- ・生産者が楽しんで取り組んでいる農業



問10 あなたは、「地産地消」に対してどのような考えをお持ちですか。

当てはまるものを選んでください(3つまで)。

	構成比	回答数
1 地元で生産された新鮮でおいしい農産物が買える	78.4%	425
2 地元で生産された安全・安心な農産物が買える	60.0%	325
3 地元の生産者の収入が増えることにつながる(応援になる)	53.7%	291
4 輸送にかかる燃料などが少なくて済む分、農産物が安くなる	27.5%	149
5 輸送にかかる燃料などが少なくて済むので、環境にやさしい	23.4%	127
6 食や農業への興味・関心が高まり、食育の推進や食文化の継承につながる	17.7%	96
7 地産地消にこだわると、農産物の種類が限定されるなど、品揃えが悪くなる	3.1%	17
8 買える場所が分からないので、手に入りにくい	2.6%	14
9 正直、地産地消に魅力を感じない	1.1%	6
10 その他	1.7%	9

(n = 542)

【その他の主な意見】

- ・「地産地消」を売りにしている飲食店等に比べ、地元消費者のメリットが少ない
- ・食料安全保障の観点から、地元の食料自給率を高める取組として大切である

